



2004 年度第 3 号

やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2004 年 6 月 5 日

今年度第 1 回理事会開催

4 月 29 日 (木) 午後 3:00 より今年度第 1 回理事会が開催されました。5 時間に及ぶ熱心な議論の結果、今年度計画の方向性が見えてきましたので、委員会別にお知らせします。6 月 17 日開催予定の第 2 回理事会では承認された方針に基づき、今年度の行動計画が審議される予定です。それぞれの委員会における検討の進展については、今後も「やまなみ」紙上でお伝えしてまいります。

出席者：【理事会】山崎啓二、長岡泰彦、千田一貴、反田隆、金井田智久、安俊弘、藤岡孝司、浅尾一郎、ウィレン理子、高岡毅、田附富雄、早川由浩、結城仁 (順不同) 【学校・事務局】堀井重樹学校長、安栄智裕中高部 SF 校教頭、青柳伸之事務局長 【オブザーバ】佐藤隆志

学務委員会

①授業内容充実に関する事項についての審議と指導助言、②恒例行事の運営指導、③教職員・保護者会等に関する事項、などを担当しています。

昨年度は、高等部存続問題に対して、全保護者へのアンケートを行いました。今年度の課題としては、昨年度に引き続き、①高等部存続問題の最終的な方向性の決定が中心となります。新たな課題としては、②図書運営要領の見直し、③年間行事策定要領の見直し、④習熟度別学習、⑤夏季集中学習、⑥昼休み時間短縮問題等につきましても、教育環境整備、授業内容の充実に向けて取り組んでまいります。

財務委員会

主な役割は、①予算の作成・実行、②Fund raise、Donation 等の財政事項の決定、③授業料改定等財政収支の検討、④各委員会に対する予算処置の検討です。本校の財源である授業料等保護者からの納入金、国庫補助金、基本財源 (当地進出企業からの寄付金など) を、有効かつ効果的に支出及び運用することを基本としています。

今年度の計画・課題としては、財政健全性維持のため、①支出の無駄を省き、コスト削減を図る、②取引先金融機関の協力を仰ぎ、主に基本財源の運用実績の向上を図ること、また、学校の運営・教育の充実を図るため、③事務局、教職員及び理事会各委員会との連絡を密にし、必要不可欠な事項に対しては積極的に予算化を講じる、ことも念頭に置いております。加えて、④3 年間据え置いております授業料改定の検討も本年度の重要な課題です。

法規委員会

①規約・Bylaws の整備・改定案の立案、②本校の Status に関する事項に関する法規上の検討、③会員の資格審査とその決定、などを担当しています。昨年度は、教育目標や重点課題等を明記するなどの「学校便覧」や「教職員手帳」の改訂、日課表の改訂、教員の評価に関する法的整備などを行いました。

今年度の課題としては、理事選出方法の見直しが中心となります。本年 2 月に理事選挙が行われましたが、初めて実施されたこともあり、選挙実施要綱が十分とはいえませんでした。他にも、現行の Bylaws の諸規定が不明確であったり、実態に即していない点が見受けられますので、整備を進めたいと考えています。

なお、新しい選挙方法を実施するためには、次回の総会 (来年 3 月 5 日を予定) の前に臨時総会を開催しなくてはならない可能性があります。

総務委員会

上記 3 委員会のカバーしない学校運営上の諸事万端を受け持ちます。昨年度は、①「学校便覧」及び「教職員手帳」の安全対策に関する部分の改定、②安全対策の一環として各教職員に Walkie Talkie の配布、③緊急連絡網導入の基礎調査を実施しました。

これを受け、今年度は①安全管理体制の見直し、②緊急連絡網構築・実施に向けての計画立案、③IT・電子化の着手、④事務局移転の 4 点が重点項目として設定されました。また、理事会から会員への情報伝達を円滑にするため、「やまなみ」の編集、理事会議事録作成も総務委員会で担当することになりました。

保護者会

理事 15 名の内、保護者会には選挙を経ない 4 席が割り当てられています。本校運営の最高決定機関である理事会における保護者会の存在は大きいといえます。保護者の総意を理事会で代弁すべく、保護者会は「総会」「茶話会」「アパンの会」などの場で意見交換を実施します。「保護者の総意」を正しく反映していると自信を持って理事会に臨めるよう本年度保護者会役員会は、①クラス委員を通じた意見集約と把握、②理事会報告会などの開催、「保護者会だより」発行による保護者への正確・迅速な情報伝達、③ボランティア活動などを通じた保護者との日常的な対話を通じて努力してまいります。

評議会

「やまなみ」2004 年 5 月号の記事をご覧ください。

理事の学校訪問

教育現場を直接見て生の声を聞くため、例年春 (中高部) と秋 (小学部) の 2 回、理事が分担して各校を訪問します。5 月に春の学校訪問が行われましたので、以下に概要をお知らせします。

【中高部サンノゼ校】

日時：5 月 1 日 (土) 午後 2:25~6:00
参加理事：千田、長岡、長谷川、藤岡

1. 授業参観 (午後 2:35~3:20)
2. 構内視察 (午後 3:20~4:00)
配電盤室に本校所蔵書籍が置かれるようになり、危険が伴う、図書コーナーの設置場所から遠すぎる、との懸念が示された。
3. 教員との懇談 (午後 4:20~5:40)
学校長挨拶、各理事、教員の自己紹介、生田目教頭による概要説明の後、以下のような懇談・意見交換が行われた。
○高校の存続問題等も含め、教員の声を直接聞きたい、との希望が理事から述べられた。

○教育を実践する上での苦勞に関して理事から質問があり、インターネット等により日本の教育に関する情報は入手しやすくなっているが、理科・社会の場合、教材の選び方で難しい面もあるとの指摘があった。

○校長や教頭が 3 年程度で交代することについて理事から質問があり、マンネリ防止というメリットがある反面、こちらの事情になるまでの苦勞のあることが指摘された。

○生徒の日本語能力と教育に関して理事より質問があり、日本語のわからない生徒は授業についてゆけず結局辞めてゆくようである、との回答があった。辞めないですむよう何らかの対策はないものかとの感想が理事から示された。

○理事会が一般教員に目を向けたことへの謝意とこのような姿勢を今後も続けていいただきたいとの希望が、教員より述べられた。

○教員が使用している指導用教科書は、学校所有物であり、自由に書き込んだりすることができない。改善策を検討することが指摘された。

4. 参加した理事の感想

○子供たちは授業に集中し積極的に参加し、また先生も活性化に努めている様子がうかがえた。国語の授業では師弟間の正しい言葉遣いも含めて注意しているとの事であった。

○中 2 後期になると、High School への進学に伴い、子供たちへの負荷が増大する。これに対応して子供たちの意欲を保つような教育指導が必要である。

○現地の高校で日本語のクラスがある場合、Teaching Assistant をするなど子供たちの特技を生かすことができる。また、高等部での学習が現地校の日本語の単位と認定されるようにするなどの検討も必要である。

○補習校の数学のレベルが現地校よりも低くなっている場合、生徒の学習意欲に影響する。また定期テストの出題や成績査定の際にも考慮が必要とのこと。派遣教員もこのような現地校とのレベル差の把握に努め、現場の教員と協力して対策を立てることが望まれる。

【中高部サンフランシスコ校】

日時：5月8日（土）午後2:25-5:00
参加理事：安、ウィレン、金井田、高岡、田附

1. 授業参観（午後2:35~3:25）
2. 構内視察（午後3:20~4:15）

安全面を中心に視察した。校門が一箇所、基本的に安全を確保しやすい配置であることが確認された。

各クラスの出席状況を職員室のボードで把握している。早退する生徒が校門近くで長時間待っていることもあったので、職員室で生徒を引き渡すように変更した。下校時の駐車場の混雑を緩和するため、安栄教頭が改善策を検討中。

3. 教員懇談（午後4:15~5:00）

学校長挨拶、各理事、教員の自己紹介、安栄教頭による概要説明の後、以下のような懇談・意見交換が行われた。

○今年度中高部SF校では、昨年と同様の校内研修テーマ「個に応じた授業の工夫」に対し、国語科は「読書の習慣化（朝の学活、小テストの後、朝の読書の時間を設ける）、漢字指導」、数学科は「チームティーチング」、理科は「多様な生徒が興味を持つことができる授業」という学科ごとのテーマを設けた。

○ブラウンボードのため板書の字が見えにくいとの指摘が理事よりあり、その場合は生徒に前に出てきてノートを書させる等の対応をとっているとの回答があった。

○教員から、収納スペースが少ないとの指摘があった。

○同じ本を数十部取り寄せるには、早くても2~3週間、日本から取り寄せると、今から注文しても秋になり、実施が困難。予算の時期的な問題もある。

○コピー機の使用が朝に偏り、大変。予備のコピー機を導入してもらえないか。

4. 参加した理事の感想

○生徒たちののびのびとした勉強ぶりが印象的。このような環境が今後とも維持発展されることを望む。

○着任早々の安栄教頭が早くもいろいろな状況を把握されていることに謝意と敬意を表す。

○教員の要望は、日常業務の中から出てくる切実なものであるので、できるだけ叶える方向で理事会がサポートできればと思う。

○収納スペースの問題が小SF校等でも出ており、解決策を模索する必要あり。

○教員と理事が直接会話をするチャン

ネルも必要である。職員会議がすぐに後に予定されていたため懇談の時間が短かすぎた。もう少し打ち解けた雰囲気で行えば、もっと話が聞けたのではないか。例えば生徒の日本語力の差やそれに関する授業の工夫等の話を聞くまでには至らなかったのが残念。

○理事会と教員の関係では、①雇用者として、教員の待遇などの問題、②学校運営者として、施設や教材を含めた運営上の問題（予算）の2点のうち、今回の訪問では、②に絞って話が出たと思う。今後、先生方から①に関する各種要望を聞くことも可能だと思う。

着任のご挨拶



中高部 SF 校教頭

安栄智裕
あんえいともひろ

4月6日付で中高部サンフランシスコ校教頭に着任しました。

出身地の北海道で13年間、中学校・小学校の教壇に立ち、児童生徒の指導に当たってまいりました。この度、かねてより希望しておりました在外教育の現場に身を置くことができ、当地で頑張っている生徒たちの教育の一翼を担えることを嬉しく思っております。

日本国内では、サッカー部、少年団の指導に長年携わってまいりました。スポーツは勝敗が全てではありませんが、子供たちとともに努力を重ね勝ち取った全道大会出場は今でも大切な思い出の一つです。

教頭として、子供たちの安全管理はもちろんのこと、学校全体の管理運営をスムーズに行い、子供たちが楽しく学べる環境作りを進めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

人事異動

退職 中高 SJ パレデスはるみ (5/22 付)

採用 中高 SJ 太田 正 (5/29 付)

事務局よりお知らせ

夏期集中学習の実施

◆期間

6/22(火)、6/23(水)、6/24(木)、6/25(金)、6/26(土)、6/28(月)、6/29(火)、6/30(水)、7/1(木)、7/2(金)の10日間です。6/28は月曜日ですが授業を行います。

中高部では、サンフランシスコ校、サンノゼ校とも6月26日に球技/スポーツ大会を予定しています。

◆集中学習期間中の借用校

- 小学部サンノゼ校（校舎の変更はありません）

Cupertino Middle School
1650 S. Bernardo Ave., Sunnyvale,
CA94087

- 小学部サンフランシスコ校

Clarendon Alternative Elementary

School

500 Clarendon Ave., San Francisco,
CA94118

- 中高部サンノゼ校

West Valley Elementary School
1635 Belleville Way, Sunnyvale,
CA94087

※6/26のスポーツ大会会場は John Muir Elementary School (6560 Hanover Dr., San Jose, CA 95129) となります。お問い合わせください。

- 中高部サンフランシスコ校（校舎の変更はありません）

※6/26の球技大会会場も同じ。

Herbert Hoover Middle School

2290 14th Avenue, San Francisco, CA
94116

「転(退)学届」の提出と授業料納入について

お子さまが転学や退学をする際は「転(退)学届」を至急事務局までご提出願います。出欠の有無に関わらず、本校に在籍している限り、原則として授業料を納入頂いております。提出が遅れた場合、次の月の授業料も引き落とされることとなりますのでご注意ください。

5月号「やまなみ」での集中学習の授業料についてのお知らせに関し、お問い合わせいただきました。夏期集中学習期間中に転退学され期間中に1日でも在籍している場合は、7月、8月分の授業料を納入して頂きます。また、本校に在籍している場合、集中学習を全日程欠席されても、授業料は7月、8月と徴収させていただきます。以上、ご承知おきください。

なお、トラブル防止のため、口頭での届出は受け付けておりません。「転(退)学届」のフォームは「学校便覧」掲載のものをご使用ください。本校のホームページ <http://sfjlc.com/> からダウンロードすることもできます。

夏休み期間中の事務局休暇日について

集中学習以後の夏休み期間中、事務局は通常、月曜日から金曜日までオープンしております。

8月2日(月)~6日(金)の期間中、お休みを頂きますのでご了承ください。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。

発行人：山崎啓二

San Francisco Japanese Language Class, Inc.,
760 Market Street, #816, San Francisco, CA
94102

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542

理事会・事務局 office@sfjlc.com,

学校 sfjlc@msn.com,

ホームページ：http://sfjlc.com

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問合せ等には一切お答えしかねます。

無断複製・転載を禁ずる。©2004 All rights reserved.